

調査研究に関する データ集積のあり方について

科学的知見を政策へ生かす方策

- 国は科学的知見(内外の研究論文や調査結果)を集積し、系統的に分析し、報告書にまとめる
- 都道府県でも、上記に沿った形で、域内の状況を系統的にまとめる
- 成果を審議会や議会等へ提出するなど政策決定に生かす取り組みが必要
- 国民、県民、マスコミへの正確な科学的情報の提供にも役立つ

調査研究に関するデータ集積のあり方(案)

調査・研究結果を行政施策に活かせる環境を整えるためには？



- 各試験研究機関、地方の研究機関が行った調査・研究のデータベースをレビューし、レベルに応じて整理された知の集積を行う必要がある。
- さらに、世界中の知見も視野に入れた知の集積を行う必要がある。
- そうした知の集積が、事前・事後評価を含めた行政施策の推進に活用されるために、今後、システム化を図っていくことが重要である。



科学的かつ集積された世界中の地域保健サービスの向上に資する知見を有効に活用できる環境の構築に向けた検討が今後必要である。